

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：八幡市

重点目標	<p>「自然と歴史文化が調和し 人が輝く やすらぎの生活都市 ～自立と協働による個性あふれるまちづくり～」</p> <p>八幡市の主要課題 人権を尊重しだれもが輝く地域づくり、これからの”八幡”を担う人づくりの推進 地域資源を活かしたまちづくりと新しい都市イメージの形成 みんなが安心して暮らせるまちづくりの推進 活力あふれる人がつどう交流のまちづくりの推進 健全な行財政運営と協働によるまちづくりの推進</p>		
	事業群	構成事業名	
	人権を大切にし、みんなが力をあわせてまちづくりを進めるまち ～人権の尊重、市民協働～ （事業群 a）	コミュニティ施設整備支援事業	
事業群全体による 成果の概要	<p>○コミュニティ施設整備支援事業 地域集会施設を整備することで、地域住民の交流活動の拠点ができ、活発なコミュニティ活動に寄与するとともに、自治意識の醸成を図ることができた。</p>		
	<small>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</small>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		コミュニティ施設整備支援事業			
事業の概要		<p>コミュニティは、市民自治の原点であり、住み良いまちづくりを進めていくためには、活発なコミュニティ活動の展開が不可欠な要素である。また、都市化の進展に伴い、犯罪の発生につながる要因が増加していることから、防犯の面からも地域住民の交流活動を強化することが重要である。このため、自治意識の醸成を図るとともに、地域住民の交流活動を支援するため、地域集会施設の整備に対して助成を行った。</p> <p>六区公会堂整備助成 8,331千円</p>			
		事業期間	平成23年2月2日～平成23年3月31日		
		総事業費	8,331千円	本年度事業費	8,331千円
事業評価	事業の必要性	都市化の進展に伴い、犯罪が多発し、治安の悪化が憂慮されている。コミュニティの活動拠点である公会堂を整備することで、地域住民の繋がりを密なものとし地域住民の協力のもと、犯罪を未然に防ぐ効果が期待されるため早急な整備が必要である。			
	事業の有効性	地域住民の自治意識の醸成を図るとともに、交流活動を促進する効果が期待できる。			
	事業の効率性	地域住民の活動拠点として自治会が管理するコミュニティ施設の整備に助成することで、住民相互の交流の促進が行えた。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果 地域集会施設を整備することで、地域住民の交流活動の拠点ができ、活発なコミュニティ活動に寄与するとともに、自治意識の醸成を図ることができた。			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。